

新型コロナウイルス と インフルエンザ

ダブル流行に備えましょう

今年の秋冬は、新型コロナウイルスとインフルエンザの流行が同時に起こる可能性が懸念されています。季節性インフルエンザの流行は例年11月上旬から始まりますが、新型コロナウイルスも、秋冬にかけて感染力が強まるとみられています。

この2つのウイルスは感染した時の症状が似ていて見分けがつかないため、どちらに感染しているかを調べるためには両方の検査をする必要があります。医療機関の負担が増え、医療崩壊のリスクが高まります。また、混合感染が起こる可能性も考えなくてはなりません。そのため、今年は例年に増してインフルエンザへの予防対策が重要となります。

まずは「感染予防」の徹底を

1

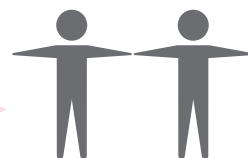
せっけんによる手洗い、
アルコール消毒の徹底



3

人と人との距離の確保
(1~2m空ける)

お互いに手を伸ばした
距離を空けよう!



2

外出時・屋内・会話時のマスク着用、
家庭内でも咳エチケットを

症状の出る2日前から他人に感染
させる恐れがあり、発症前後に最も
感染力が高まる。



4

3つの密を避ける

換気の悪い
密閉空間

大勢がいる
密集場所

間近で会話する
密接場面



インフルエンザ予防接種



「インフルエンザ予防接種」はお早めに!

インフルエンザ予防に最も有効な手段はワクチン接種です。発症した場合に重症化を防ぐ効果も実証されています。インフルエンザワクチンは接種して抗体ができるまでに2週間ほどかかります。そのため、流行期に合わせて10月末までの接種がおすすめです。13歳未満の子どもは2~4週間の間隔を空けて2回の接種が推奨されていますので、特に早めに1回目の接種を終えておきましょう。



接種費用を補助します!

対象	被保険者・被扶養者
実施期間	令和3年3月31日まで
内容	1年度につき1人1回まで、2,000円を上限に接種費用を補助します

詳細は、
当組合ホームページを
ご覧ください。

